

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	肺癌に対するサルベージ手術の有効性と安全性を検討する多施設共同後ろ向き臨床研究
	研究目的	原発性肺癌に対して、根治的放射線・化学放射線療法後に局所(肺または所属リンパ節)に遺残または再燃した場合に根治手術(サルベージ手術)を行った症例を、多施設共同で後ろ向きに集積・解析することで、その切除の有効性・安全性を検討し明らかにする。 対象：2010年1月1日から2015年12月31日の6年間に根治手術(サルベージ手術)を行った症例。
	研究期間	西暦 2017年8月31日～西暦 2019年8月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	研究責任者	伊藤宏之
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	群馬大学医学部附属病院 外科診療センター 呼吸器外科 茂木 晃